

2013年7月29日 かでる2・7

<テーマ1>

順次、各校から状況の報告を行ってもらう。

- ・チャレンジテストの印刷など印刷費で賄っていると思うがどのような状況か？

予算内でやりくりしている。夏休み帳については、石狩市では市教委からA4の用紙が支給されている。チャレンジテストの影響はあまりないのではないか？

- ・各校の発表から

前任者の予算書から自分なりに細分化した予算書を作成してる学校がいくつかありますが、どのような効果がありましたか？

花川南中・生振小→ 結果として見やすくなる。中間決算も示しやすい。

示すことによって興味を持ってもらう。

花川南小→ 予算配分の項目が他校と多少雰囲気が違うのでは・・・。

行事費の備考欄・・・もう少し分かりやすくできれば良いのでは？

浜益中→ 下から2番目のPTA活動～増額しましたの説明書きはとても良い。

日の出小→ 千歳市では、知能検査のペーパー代は市費だったが採点代は保護者負担だった。今年度から市費で負担することになった。

- ・予算の配分表はあくまでも目安なのか？

- ・〇〇校では、たまたま4月から事務がいなかったため予算の配分表は無かったのですが、そうすると春先だけで昨年度の印刷費の半分を使ってしまっていたりする。

- ・学校によっては、配分予算をやっていない学校もあるがどうなのか？

- ・予算は計画ではないのか？

- ・予算は事務にとって計画であり教員にとって目安が良いのではないのか？

- ・目安の予算執行であれば期限付きのパートでも出来るのではないのか？

- ・1年間の教育計画を見通せるような学校予算を作っていくべきではないのか？

だから、今まで財政財務活動という言葉を使って来たのではないのか？

- ・目安だけでは職員会議でスルーされるのではないのか？

- ・目安だと最後は事務の力量で差が出るのではないのか？

- ・教育課程に則した計画的な予算配分を目指そうではないのか？

- ・消耗品の希望調査について

やるメリットはあるのか？

色々、消耗品だけでなく備品や修繕まで出てくる。しかし、1つずつ希望に対し返答することでとても有効である。ペーパーにして全員に示すことが大事である。

※目安でなく領域実践としてしっかりした計画を！

午前の部終了

### <テーマ2>

- ・ 順次、各校の調査結果について特徴的なことを中心に話してもらう。
  - ・ 生振小：集金額が他校より少し高い  
→ラフティングの費用、小樽の卒業制作オルゴール作りが高い
  - ・ 八幡小：1,000円→小樽サンドクラフト
  - ・ 厚田中：添乗費用が突出して高い
  - ・ 厚真町：町から補助金が出ている
  - ・ 千歳・恵庭：入場料の補助はない。

※表をつけて予算要望書に反映していく。

### <テーマ3>

- ・ 順次、各校の現状を資料に基づき交流。
- ・ 修学旅行費やスポーツ振興センターの会費なども口座引き落としも行っている学校もある。
- ・ 千歳：北進小中→すべて現金徴収（学校の特殊事情）
- ・ 千歳・恵庭：学校で給食費の徴収
- ・ 恵庭：就学援助費→学用品費を抜いて残額を支給する方法に変更

※事故防止の観点から可能な限り口座振替が望ましいと考える。

- ・ 徴収金決定の際の事務の係わりについて  
みんなやってはいる。  
しかし、それを記録に残して文書として表現していかなければならない。  
全体に周知していく努力をしていかなければならない！！

※保護者負担軽減の観点から徴収金の内容などを把握する必要があり何らかの形でも関わりを持つことが重要ではないか。

### <テーマ4>

- ・ 3人の発表者が順次発表。
  - ・ 生振小  
P T A会費の値下げへ→学校奨励プログラムの活用  
※奨励プログラムの担当者などの調査を行っても良いのでないか？
  - ・ 八幡小  
保護者負担軽減がなかなか進まない。教員側の意識改革が必要？  
※ねばり強く教員の意識を変えていくしかないのではないか？
  - ・ 花川南中  
理科の全額公費負担を発端とした保護者負担軽減の実践例  
※いろいろな教科や宿泊学習の単価を下げることに成功した実践例など見習わなければならない部分がたくさんあり、他校でもやれる部分から取り入れていきましょう。

全日程終了